由布市庄内地域若者定住住宅地造成工事設計業務委託 公募型プロポーザル
審査方法・審査基準

1 審査方法

(1) 審査は、由布市庄内地域若者定住住宅地造成工事設計業務委託公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）が行う。

(2) 審査方法は、選定委員会の各委員が、提案書の内容に基づいた書類による一次審査、プレゼンテーション及びヒアリングによる二次審査を実施するものとする。

(3) 一次審査（書類審査）は、5の審査基準1. 2により採点し、上位4者を選定する。

(4) 二次審査（プレゼンテーション、ヒアリング）は、一次審査で選定された上位4者により、二次審査を行う。二次審査は、5の審査基準3. 4, 5により採点するものとする。

(5) 審査の順位は、一次審査と二次審査の合計点で決定する。全委員の点数を合計して得点の高い者から順位付けを行う。採点した上位の者から順に、①受注予定者、②次点者を選定する。なお、合計点と同じ者があったときは、総合評価の採点が高い者を上位とし、それでもなお同点であった場合は、選定委員会が総合的に評価審議し、理由を付して順位を決定するものとする。

(6) 参加申込業者が4者以下であった場合は、一次審査と二次審査を同一の日で行うことができるものとする。

2 プレゼンテーションについて

プレゼンテーションの実施要領は、次のとおりとする。

・プレゼンテーション及びヒアリング実施時の説明者は、補助者を含め4名以内とする。ただし、提案者の社員以外の者の出席は認めない。

・プレゼンテーションの時間は、20分以内とし、事務局が事前に定めた順番・開始時間により説明する。

また、説明時間の配分は説明者において任意に設定すること。なお、説明時間が20分を超過した場合は、説明の途中でプレゼンテーションを打ち切ることとする。

・プレゼンテーションにおける必須説明事項は次のとおりとする。

① 会社の概要、同種・類似業務の実績、本事業の基本的な取組方針、基本姿勢

② 「設計に当たっての要件」 に対しての提案内容

別紙「公募型プロポーザル実施要領」のとおり。

・プレゼンテーション後、提出書類の内容も含めた、質疑応答の時間を15分程度設けるものとし、質疑応答の内容も審査に含めるものとする。

- ・プレゼンテーションにおいて説明・提案する内容は、参加申込書、提案書に記載されている事項とし、プレゼンテーションの場における新たな提案はできないものとする。
- ・プレゼンテーションにあたり、パソコン、プロジェクター等を用い説明することを認める。なお、原則としてパソコンや端末等の機材は参加者自身が準備することとするが、事前に申出があった場合に限り、市が所有するスクリーン等を使用することができるものとする。
- ・プレゼンテーションの日時については、事務局が参加者に対し、個別に通知する。

3 プロポーザルの参加者が1者であった場合

プロポーザルの参加者が1者であった場合でも、本プロポーザルは実施する。ただし、審査においての評価点が、基準点以上でなければ、受注予定者の選定はできないものとする。（各選定委員の評価点の平均が60点以上）

4 評価手順

- ア 評価は、「5 審査基準」に示す評価項目について実施する。
- イ 選定委員は、全ての評価項目において、配点に以下のAからEまでの5段階で評価し、評価ランクに応じた配点比率を乗じたものを評価点とする。全ての項目の評価点を合計し、評価点を算出する。評価点は、小数第2位まで求めるものとする。

評価ランク		配点比率
A	特に優れている	当該項目の配点×100%
B	優れている	当該項目の配点×75%
C	標準的	当該項目の配点×50%
D	やや劣っている	当該項目の配点×25%
E	劣っている	当該項目の配点×0%

5 審査基準

	項目	詳細	判断基準	配点
1	実施体制・スケジュール	業務内容や業務課題を理解し、本業務に積極的に取り組む熱意が感じられる。	・ 取組姿勢	10
		知識と経験を有する技術者が効果的に配置され、その能力を十分に発揮することが期待できる。また、無理のないスケジュールが組まれている。	・ 実施手順の明確性 (説得力があるか)	
			・ 工程計画等の妥当性	
2	造成地整備	「若者定住促進」や「周辺の環境・景観に配慮した計画」など提案課題を理解し、提案課題に対してデザインコンセプト（新たな取組やアイデアなど）の提案が盛り込まれている。	・ 理解度（提案の的確性）	10
			・ 提案の独創性	10
		提案内容に説得力があり、実現可能な内容である。	・ 市民との協働・調和	10
			・ 提案の実現性	
3	プレゼンテーション及びヒアリング	説明内容が提案書の内容をよく補完しており、専門技術を十分発揮することが期待できる。	・ 専門技術力	10
4	コミュニケーション能力	質問の意図を理解し、質問に対する応答が明快かつ迅速で、スムーズな業務実施が期待できる。	・ 意思伝達力	20
			・ 論理的表現力	
			・ 好感表現力	
			・ 対人調和力	
5	総合評価	事業実施地域を適切に把握し、理解した上で、配慮に係る事項が盛り込まれている。 本業務の目的を達成するための十分な能力があり、業務を確実に履行することが期待できる。	・ 総合評価	30
	合計			100